

入鹿池で発生した自衛隊機墜落事故に係る国等の対応について

○発生事故

令和 7 年 5 月 14 日（水）午後 3 時頃、航空自衛隊新田原基地所属の自衛隊機（T-4 練習機 1 機）が入鹿池に墜落。

○防衛省等の対応

〔油流出防止対策〕

- ・油膜回収
- ・取水塔等へのオイルフェンスの設置、油吸着マットの敷設
- ・油検知剤による検査

〔水質調査〕

- ・防衛省が委託した専門の民間会社において、事故現場付近、入鹿池中央、取水塔等の複数ポイントで実施。
- ・当面の間、週に複数回実施し、継続的に水質の安全性を確認。
- ・防衛省が水質に係る打合せを開催。農業関係分野、環境保全分野を専門とする国や県の関係機関等に対し、水質調査結果の報告や意見聴取が行われ、その上で、事故発生後の入鹿池の水質は、農業用水として問題はなく安全であると判断。
- ・調査項目及び調査結果は別紙のとおり。

※調査にあたっては、入鹿用水土地改良区に協議のうえ実施。

○市の方針

- ・例年実施している主要河川等水質調査において調査地点の一つである入鹿池の調査を 9 月と 2 月に実施予定。調査の結果、過去の調査結果と比較し、水質に異常が認められる場合は、原因の特定や水質の回復に向けた必要な措置を講じる。
- ・今回の事故に関して、犬山市として、防衛大臣に対して、市民の安心安全をはじめとした申し入れを行っており、入鹿池に水質異常が見られ、その原因が今回の事故によるものである場合は、防衛省に対して必要な措置を講じるよう要請する。
- ・入鹿池の環境保全に係る取り組みが今後も継続的に進められるよう動向を注視する。